

あの日を忘れない

～令和元年東日本台風から3年～

いつ、どこで大災害が起きてもおかしくない時代です。

3年前の経験も踏まえ、いわき市では関係機関と連携し、常設避難所の整備、河川の掘削、防災マップ・津波ハザードマップの改訂、災害ごみ処理の計画づくり、要支援者の個別支援計画づくり、物資運搬シミュレーションなどを進めてきました。

あのときの悲惨な経験を「教訓」とし、皆様と一緒に「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」のまちを目指しましょう！

いわき市長 内田 広之



特集

逃げ遅れゼロ・災害死ゼロを目指して

災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ、もの時に備えることが防災への第一歩につながります。市では、**防災マップ**を作成し、市民の皆さんへ日頃の備えについてお知らせしています。防災・減災のためにできることを振り返ってみましょう。

○我が家の災害リスクは家族でシェア

防災マップを中心に津波や洪水の危険性を確認しましょう。さらに詳しい情報にはハザードマップを使い、家族で情報共有しましょう。

○2種類の避難方法を再確認

避難には、立ち退き避難と垂直避難の2種類があります。状況によってどちらの避難を選ぶかは変わってきます。家族で確認し合い、早めの避難を心掛けることが大切です。

○非常持出品・備蓄品を確認

災害発生時に持ち出す非常持出品と、救援物資が届くまでに必要となる備蓄品は、用意できていますか？また、賞味期限は過ぎてい

ませんか？ 定期的に確認しておきましょう。

○災害関連の情報収集手段を確認

災害関連情報は、市ホームページのほか、さまざまな媒体でも取得できます。防災メールの登録をはじめ、ご自身にあった情報収集手段を確認し、災害が起きたときにどのようなものから情報が取得できるか、知っておきましょう。

○お問い合わせ

災害対策課災害対策係
☎22・1242

振り返りには防災マップを使おう

防災マップは災害対策課で配布するほか、市ホームページに掲載しています。市公式LINE（裏表紙に2次元コードを掲載）からも確認できます。



河川の復旧状況

令和元年東日本台風で被災した夏井川と好間川の復旧状況は、県いわき建設事務所ホームページでお知らせしています。現在、夏井川は14工区、好間川は3工区に分け、掘削工事や護岸工事などを精力的に実施しています。

同事務所が作成しているパンフレット等については、市内のスーパーマーケットなどに掲示しています。



○お問い合わせ
県いわき建設事務所
河川砂防課
☎35-6045